

○ 発行計画の減額対応(4,800億円 → 4,600億円)

- 第21回大阪府財務マネジメント委員会で示した大阪府債発行計画(案)において、臨時財政対策債(※1)に係る大阪府への公的資金の配分額は未確定であったため、配分額を α とし、確定後フレックス枠で調整することとした。
- その後、公的資金は約240億円配分されたことから、結果としてフレックス枠での発行額は1,100億円となった。
- 今後フレックス枠を活用して発行する予定の160億円(※2)のうち、外貨建て国内債(100億円)は現在、市場条件が整うタイミングを見計らっている。なお、発行ができない場合には、円建て債への振替発行等により対応。

(※1) 地方一般財源の不足に対処するため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法5条の特例として発行される地方債

< 第21回大阪府財務マネジメント委員会(令和4年2月7日)時点 >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
市場公募債	10年		200		200		200	600		200		200		200	600	4,000± α
	5年	200		200		200		600	200		200		200		600	
銀行等引受債	証券							0	100					100	200	
	証書							0	200					200		
フレックス枠		1,300± α														
共同発行債	10年	800														
合計																4,800± α

< 最終見込み >

(単位:億円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計	
市場公募債	10年		200		200		200	600		200		200		200	600	2,700	
	5年	200		200		200		600	200		200		200		600		
銀行等引受債	証券							0	100					100	200		
	証書							0	200					200			
フレックス枠							100	100	590		250		160(※2)		1,000		1,100
共同発行債	10年	100	100			100	100	400	100	100		100	100		400		800
合計																4,600	

(※2) 160億円のうち100億円は外貨建て国内債での発行を予定